

# 性の多様性と人権を問う

「性の多様性と人権」委員会 主催  
発達科学研究所 共催

**Part1 幼児期の子どもの”セクシュアリティ”に向き合う理由とその方法**

**Part2 私が10歳の時に知っていたことー規範を再考する**

通訳 大橋 紀子 氏

ストックホルム在住50年、ストックホルム公認ガイドを務める。

開催日時 **2022年12月3日** (土) 13:00~16:30

(Part1 13:00~14:30、Part2 14:45~16:30、Part1,Part2 どちらか一方の参加も歓迎)

開催方法 オンライン Zoom (本学学生・教職員のみC401教室での参加も可能です) ※いずれも要予約

申込方法 下記の申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/waALbSZqsAuLRERN8>

問合せ先 学生課 (「性の多様性と人権」委員会)  
gakusei-c@mgu.ac.jp 申込

申込締切 2022年11月25日 (金) 17:00



私たちが自らを大切にし、多様な生き方を尊重し合うため、学ぶべきことはなんでしょうか。

本講演会ではスウェーデン性教育協会のカリキュラム・オフィサーを務めるハンス・オルソン氏を講師にお招きし、氏の経験と研究成果に基づいて、性の多様性と人権についての基礎的な考え方をお聞きします。学内の皆様はもちろん、学外の方・OGの方も是非ご参加ください。

## 講師 Hans Olsson氏

スウェーデン性教育協会 (RFSU) カリキュラム・オフィサー、教師、小説家。

教育改革の際に、国からの要請を受け、性の多様性と人権の観点担保されているか・差別的な表現はないかという観点から、全教科の教育内容を評価した国を代表する研究者。国内の様々な教材の作成、教師・生徒の研修、ワークショップなどを担当するほか、発展途上の国のこどもを守るため国外の活動にも注力。

